



## 第8回ダウン症候群トータル医療ケアフォーラム プログラム

日時：平成27年2月7日（土）13:00～16:00  
場所：長崎大学病院 第4講義室（長崎市坂本町1-7-1）

主催： 長崎大学医学部小児科学教室  
染色体障害児・者を支える会（バンビの会）



----- プログラム (敬称略) -----

第一部 講演会

司会：森内浩幸（長崎大学小児科）

13:10～13:40 自律神経障害とは

長崎大学病院 第一内科 脳神経内科  
中嶋秀樹

13:40～14:10 ダウン症の方に対する自律神経障害

長崎大学病院 小児科  
中嶋有美子

14:10～14:40 心臓と自律神経

長崎大学病院 小児科  
中垣麻里

14:40～15:10 起立性調節障害について

長崎県立こども医療福祉センター小児診療科  
小柳憲司

第二部 総合討論会

15:30～16:00

総合司会：森内浩幸（長崎大学小児科）

-----  
第一部の途中、及び第一部と第二部の間に少し休憩を取ります。

今回は保育を用意しておりません。ご迷惑をおかけいたしますがご了承の程、宜しく  
お願い申し上げます。

## ご挨拶

長崎大学医学部小児科教授

森内浩幸

ダウン症候群の方々と医療を中心とした様々な情報を共有する目的で平成18年に開催したダウン症候群トータル医療ケア・フォーラムも、今回で8回目を迎えることができました。年に1度ですがこのようなことを続けることができ、本当に嬉しく思っております。ダウン症候群の方々は多彩な合併症を持つことが少なくなく、多くの診療科のネットワークにより、どのような状況であっても最も適した医療を提供できるように長崎大学小児科が中心に進めている所です。先日、「医療に何を期待するか」というテーマでのアンケート調査の中間報告を目にしましたが、長崎県内の多くの方々が「医療の現状にますます満足されている」という結果に素直に安堵を感じる一方、「トータルで診てもらえる所がない」などのご意見も頂戴し、今後役に立たせようと考えている所です。本フォーラムは染色体障害児・者を支える会（バンビの会）と共催と言う形で開催してきております。また、テーマにおいても、ご家族の方々のタイムリーな関心事を取り上げるべく、バンビの会の方にゆだねている所です。そのため、多くのご家族、関係者がお出でいただいているものと思っております。

今回のテーマは、「ダウン症候群と自律神経障害」です。自律神経という言葉は難しく取っつきにくい感じかも知れませんが、運動時や興奮したりなど活動的な状況で優位になる交感神経と安静時など気分的に落ち着いている時に優位になる副交感神経がバランスをとりながら動いています。これらのどちらかが突出すると体調面で不具合を生じたりします。そのため、私どもの日常生活上、もっとも影響が出やすいものと思います。ダウン症候群の方は、精神的にデリケートな方が多いように感じます。それが、体調面で不安定にならないようにとことで今回のテーマになっていると思います。

今回のフォーラムに先がけ、自律神経系に関するアンケート調査をとらせていただきました。非常に貴重なご意見をいただき、そのご協力に深謝いたします。自律神経障害についての概略（中嶋秀樹先生）、ダウン症者への上記アンケート調査を含めての話（中嶋有美子先生）、循環器系への影響の話（中垣麻里先生）、起立性調節障害の話およびその臨床的対応について（小柳憲司先生）で構成されています。有意義な話を聴けるものと思います。

是非、この機会に多くのことを共に学んでいき、情報を交換し、お互いに認識を高めていくことができますことを、心より祈っております。